様式第２号（第１０条関係）

会議記録

附属機関の名称	熊谷市公民館運営審議会
開催日時	令和８年８月２７日（木） 午前１０時００分から１１時３０分頃まで
開催場所	熊谷市立大幡会館ホール
出席者	熊谷市公民館運営審議会委員（１３名） 下妻委員、小島委員、林委員、宮澤委員、鎌本委員、藤野委員、小河原委員、岩山委員、志村委員、原島委員、岡委員、前川委員、森委員 事務局（８名） 教育長、教育次長、中央公民館長、担当副参事、中央公民館副館長兼庶務係長、中央公民館管理係長、中央公民館事業係長、妻沼中央公民館長
傍聴人	１名
問い合わせ先 （所管課）	教育委員会中央公民館 ℡　０４８－５２３－０８９５
内容	【委嘱状交付】 【委員長・副委員長選出】 岡委員長、下妻副委員長を選出 【議題】 （１）令和７年度事業報告について・令和８年度事業計画について （２）公民館大規模修繕について 【内容】 議題について事務局より説明後、質疑を行った。 質疑回答概要は次のとおり。 （１）令和７年度事業報告について・令和８年度事業計画について 事務局より資料に沿い説明 ●質疑等　なし

	（２）公民館大規模修繕について 事務局より資料に沿い説明 ●質疑等 【委員】公民館修繕計画表で、妻沼公民館の廃止時期が 2026 年となっているが、これは決定事項か？ 【事務局】計画年度であったが、現在、地元の意見を聴きながら移転を計画中であり決定ではない。 【委員】公民館修繕計画表に載っていないものは、これから検討するのか？順次追加されていくのか？ 【事務局】本日の資料は直近の計画表になっている。このほかは熊谷市個別施設計画に記載があるが、現在見直し中のため提示していません。 【委員】公民館一覧で、大幡、佐谷田、三尻、大麻生の４館は面積が同じであるが、同じ造りなのか？ 【事務局】基本的な仕様は同じで、ミニキッチンか流し台かなど多少の差異がある。 【委員】議題からそれるが、最近災害のニュースが多い。熊谷市では公民館に災害時の備蓄品はあるのか？ 【事務局】避難所は危機管理課で指定しておりハザードマップに記載している。その中で一部の公民館は第２避難所の指定があるが備蓄はない。小・中学校が主に第１避難所になっており、そちらに備蓄がある。 【委員】やはり自宅近くに避難したいと考える人が多いと思うので質問した。 【委員】避難所の南小が荒川に近いこともあって、自宅前の荒川公民館に避難してきた人がいて、押し問答になったことがある。人情としてわかるので、やはり検討が必要ではないかと思う。 【委員】江南公民館は江南ピピア内にあるが、避難所に指定されている。 【議長】ここ大幡会館などは施設が小さく備蓄品を置くスペースもない。避難所には難しいと思うが、課題ではあると思う。なかなか難しい。 【委員】熊谷市の防災計画での公民館の位置づけの話になるので、本審議会の趣旨とは違うと思われる。 【議長】この話題は以上とする。 【委員】減免について伺いたい。これまで無料使用できたものが、今後どうなるのか？ 【事務局】令和２年に本審議会で受益者負担について、公平性の観点から利用料を負担いただくことを答申いただいたが、コロナ禍や

	施設マネジメントの進捗、公民館再編を踏まえ、手がついていなかった。答申から６年過ぎており現状にあわせアップデートをはかりたい。料金の値上げではなく減免の適用や割合について今年度検討する。 【委員】地域会館パンフレットの料金表は、上段の団体と下段の団体以外で、どう見たらよいのか？ 【事務局】団体とは、公民館を利用する学習グループ、サークル、自治会、長寿会、子供会などいわゆる法人では無いもろもろの団体になり、団体以外とは、法人や個人になる。この地域会館は純然たる公民館と違い利用目的の規制を緩やかにして、営利団体にも使用できるようにした。一部減免も用意してあるが、下段表のとおり料金は４倍になる。 また、既存の利用団体を優先したいので、予約受付期間を団体は３が月前から、団体以外は２が月前からとしている。 【委員】では、まだパンフレットの表の料金は適用されていない？ 【事務局】この料金表は適用されているが、これまで減免となっていた団体は、今年度も引き続き１００％免除としている。 【林委員】公民館は皆さん使いやすい施設であると思うし、コミュニティとしても多くの方に使ってもらいたい。そこで料金がかかると活動が鈍るようなこともあると考えてしまうので、減免を残すことも検討に入れてくれるとありがたい。 【議長】事務局には意見を踏まえ前向きに検討いただきたい。 【委員】現在、団体の減免基準に１０名以上とあるが、高齢化などで人数が減っていく傾向がある。人数の基準を緩める検討もしてほしい。 【議長】大幡でも会員減少は同様ある。課題である。 以上。